

# 寺崎組新聞

第百二十六号

発行所 寺崎組新聞社

## 立ちゴケ2回で ヒヤッハイ

(天を笠レポート)

キックペダル落とすなど、故障が多い三浦2号です。久しぶりの参加の為、今回はレポートの担当になりました。

集合は3月19日の土曜日いつもの遠鉄ストアですが、前日の金曜日に岡崎での出張を入れて、経費削減&出張組合にしました。横浜出発はAM10時。東名厚木を過ぎた所で、DRを積んだトラックを通過する組長を突いた青い軽トラを運転する組長を発見!

初日土曜日は豊橋のビジネスホテルに宿泊していましたが、この日は朝から強い雨が、豊橋では10時に雨は上がりました。豊川稲荷をちょこつと観光(キツネだらけ)して、いつもの遠鉄ストアに到着。カッパズぶ濡れの組長も到着。初日の参加者は、組長(DRSO)、地下鉄さん(志)、六川さん(TT)、村松岡さん(レイド)、オガタさん(ジエバ)、山田社長(レイド)、2号(スズメ)の7名(この時点で、右後ろのウインカーが断線している事を見!)(故障①)

午後2時前に遠鉄ストアを出発、天竜川周辺の林道を走ろうと走り。前日からの雨で、林道はヌルヌル地獄、キャンプ地には4時ごろに到着しました。

宴会では組長特製のシチューが振舞われました。宴会中に組長がレモンード粉末を持っていてる事を発見!、それをお湯と焼酎で割ると、特製! テラネードの完成です。冬にはパッチリのカクテルでした。この日は焚き火をする事は無く、駅名連呼も無く、オヤジダジャレも無い、静かな宴会でした。

## 3日目キャンプ地



2日目、キャンプ地出発時に立ちゴケ(一回目)。最近どうもサスガ、今回林道走行で、その感じが更に強くなり、リアサスのダンパーが抜けている事を確信(故障②)。2日目から合流する、ゴ三浦さん(石改)、りょうふうさん(XR50)と石改、ここは来年の待ち合わせ場所(ここは来年の待ち合わせ場所)になってナンパープレートが落ちそう。ナンパープレートは、ピニールテープでグルグル巻きにして対応。ピアゴにて立ちゴケ2回目。バイクを引き起こす時にアクセルを逆に絞って、アクセルグリップとインナーチューブのボンドが剥がれる(故障③)。(故障④)。アクセルグリップを「ぎゅつ」と握ると回せませんが、途中で握力の限界を感じ、六川さんから頂きました針金で修理完了。

2日目のキャンプ地は、林道頂上の広場で建てられて、そこは既に太陽電池が建てられており、太陽電池の下の広場でキャンプする事に。2日目は焚き火宴会になりました。長時間の渋滞走行で過労のりょうふうさんは、早々に就寝。この日も駅名連呼は無く、平和な宴会となりました。

伊東に取りに行く為、朝早くに出発準備をしているので、2号も急いで撤収。清水近辺の軽トラ置き場まで組長と2人でナチュラール・ツーリング。2時間ほどたつぷり林道を走行し、リアダンパーにトドメを刺しました。組長の軽トラと新東名を沼津SAまで走行、組長は軽トラで一眠りして、ここで解散しました。はたして、伊東のポチバイクはどうだったのでしょうか。

## 平成二八年度五月 小武川宴会レポート

小武川宴会フライング当日2日(日程は3/5日)、カレンダー的には平日でありましてガラガラ中央道を走り、いつものように長坂駅前やまといで買い出しして小武川林道に向かいます。

もはやダートも一部となってしまった小武川林道を上がりますと去年は工事中だったコンパウンドキャンプ場の下部にある林道の橋の架け替え工事も終わり道筋も大きく変わって舗装路になってしまっていました。キャンプ地の林の中にジムニーを進めると、奥まで入っていきません。前述の橋の架け替えに伴い林が伐採されて大きく開けてしまっています。

ジムニーから降りて、腰を下ろして来年度の小武川はどうなるのかなあ? と思いつつラーメンを煮て缶ビールをゴクリと一杯やります。元ひらりん「M2」のゴ三さん登場。次いでアクリットトラックに「TIRRS」を積んだロッカーさんに、「M3」のりょうふうさん、さすがに仕様クロスカブの赤賞さんが登場。そして組長がハイゼットトラックに「ニューシン」を積んで登場。いろんな筋より新しいトラライアル車を手に入れたとお聞きしました。さすが目の付け所がマニアックであります。

現車を拝見しますとアルミフレームでエンジンも専用っぽい、キックペダルの造形なんか素敵やないですか。通常のガソリンタンクナシで下カブタンクを備えているそうで、競技指向かつリング指向が良くわかりませんが良い時代のバイクですね(笑)。さて日程フライング宴会は、まだまだ日の高い16時には解禁。急ピッチで一巡して出来上がってしまうピッチの速さ。明日は誰が来るのか? なんて話をしながらフライングの夜は静かに更けていきました。

フライングの夜も明けて3日の朝、ラジオを聴きつつ米を焚いてました。朝食の時間が終わると寺さんはランチ用のサンドイッチを調理中。日くプリティッシュのトリアアラにサンドイツを持ってツーリングに行つて来るのだそう。すっぴん丸見えになつてしまったコンパウンドキャンプ場の次なるキャンプ地を探しに行かれたかなんて思ったのですがどうだったんでしょうか?



そうこうしていると、久々の宴会参加のノムラ夫妻の橋本さんとノムラさんが「M2」バハと愛車「M2」で登場。久しぶりの小武川でキャンプ場周りの景観が変わってしまっていて分からなかったようでオーバーランしてしばらく戻ってきませんでしたが(笑)無事到着。「M2」のひらりんさんと「子息」ハヤト君が登場。ハヤト君は今春から映像系の専門学校に進学されて、おめでとうございます。三瓶さんが「M2」で登場。伊勢のサバイ電気さんがカローラバンで登場して、3日のメンツが揃いました。3日のメンツが揃った頃に寺さん「TIRRS」が帰場。到着するなり「全然大変なんかに痛くない!」全然腰なんか痛くない(運呼)「笑」。さすがに快適なソファという訳にはいかんみたいですね。

3日の宴会もやっぱりまだまだ日の高い16時にスタートし、つまみがぐるぐる回ります。5月小武川の宴会部部長、サバイ電気さんのありがたいたい話を聞きます。「男は家の玄関をくぐってからが戦いやで、地雷(奥さま)の様子を察知して行動するんや、地雷(奥さま)を巧みにかわして戦場に勝利せよやらん」等々、頂戴致しました。各々、地雷源の規模も様々かと思いますが、まさに地雷処理無くして勝利無しであります。熱い教えを胸に刻み取らんとひらりんさんがなり声を聞きながら3日の夜も更けていくのであります。

4日の朝は昨夜深夜に降った雨の為に張ったタープの中、ノムラさんは、今では組員ですら使用する者が皆無となったホエーストロープがメイン。やはりガスストロープばかりに慣れたいと赤ガスのプレヒートの匂いは懐かしい。やはり点火と消火を繰り返す場合はガスリキ系は使いにくい、実用面だけみれば安くてどこでも買えるCB缶ユーザーばかりになるのも必定か。しかし見事に世代交代してしまつた寺崎組でした。何時も



の如くやる事が無く暇なので、寺さんの「TIRRS」を借りて試乗してみます。さすがに「M2」だけあって力強いし、車体は軽い結構速いです。でもポジションはやっぱりトライアル車なので座って快適な様には出来ていないですな、当たり前か(笑)と、そんな事をしてる内に昼も過ぎたので帰り支度です。



4日から参加の地下鉄さん、オガタさん、村松岡さんと入れ替わりに組長と皆さんに挨拶をして小武川を後にしたのであります。

記 蹴りバハ河合



ている。路面状況が全く分からず組長の轡だけが頼り。突然フロントタイヤがロックス転倒。何が起きたかわからず、草の中に僅かに見えるのは側溝。地下鉄さんに起こしてもらい感謝。再スタートに組長ははるかかなたに。草の倒れた跡を追って枝の妨害にも負けず汗だくに。ながら終点に辿り着く。国道三百四十九号線に出てちよっと走り町道を經由し坂庭入宝坂林道に入る。先程の林道とは違って走りやすい。展望が開けた広場にて休憩(十四時五分)。「さっきの林道酷かったなあ」と一同。体やバイクにはそれを物語る草や毛虫等が付着している。まだ野宿するには時間があるの。ここを候補地として組長お勤めの野宿地へ移動する。林道を北上し県道二十七号線に出る。西進し国道百十八号線に出て北上する。塩町を抜け棚倉町から県道六十号線に入る。暫く西進し戸中峠手前の林道へ入る。結構長い距離を走ると辺りが開ける。ダム湖の畔に辿り着く。地元の方が草刈りしたと思われる広場がありここを今日の野宿地とする(十六時)。本日走行距離1287km。

広場が広くて「どこにテントを張ったらいかがかわからない」と地下鉄さん。野宿者の性出る。糞に広場を使い各自テントを張る。ゴミ浦さんが「ヒグラシうるせえ!」と言うほど山全体で鳴いている。乾杯し宴の始まり。昨日と同じく組長のラジオから大相撲中継。ゴミ浦さんから現在の星取を聞かれるが、昨日の記事がない人々。海外出張の多いゴミ浦さん、機内食で出された塩の小袋等を持参。組長頂く。辺りが暗くなる。昨日の再現。組長のミニランタン。光量調整すると昨日よりも明るい。地下鉄さん「帰ったらぼちぼちしよう」と購入確定。そして本日も恒例の池が弱り、音質が悪くなるが「この曲、名曲だよ」となかなか変えず、すべての曲を褒めていると電池切れ。酔いも回り覚えているのは池、クルマンディーノ陸作戦とかブライベイトライアンとかプロレス全盛の時代とかマニアックな話が尽きない。二十時を過ぎるとお地蔵さんタイム。組長とゴミ浦さんが交互にお地蔵さんになる。二十一時前、組長就寝。私もテントに入る。寝はまた続いたらしい。二日目終了。



記 124号ミクラ

七月十八日(月)晴れ 最終日 零時過ぎ、雨がテントを叩き目が覚める。天気予報通りの深夜の雨。断続的にパラパラと通り過ぎる。雨音に紛れ甲高い動物の音が聞えてくるのがわかる。多分、鹿と思われる。近くなったり遠くなったり移動しているのがわかる。多分、鹿と思われる。鹿が聞かれない。次に目が覚めると寝付けない。次は目を覚めると明るくなっており朝を迎える。五時、次々と組員が起き出し朝食タイム。軽量化の為、残った食材を食す。最終日にやっとならぬ空気が青空が陽射し。最後の最後いい天気になる。陽射しが濡れたテントを乾かす。撤収準備が終了し集合写真を撮る。本日のルートは、組長・地下鉄さん・オガタさんが南下(昨日来た林道を戻る)し、ゴミ浦さんと私が北上する(白河方面)事に、岐路ルートを確認し八時、野宿地(犬神ダム湖畔)を後にする。

一人一言

今回は、あえて催促はしませんでした。その結果はご覧の通りです。組参加者で、報告原稿担当者以外、自主的に一人一言を送ってくださるよう、重ねてお願いいたします。

天竜組会

●何時もの遠征と、何時もの林道、そして酔いつぶれるわたし! 最高です!(オガタ)

小武川組会

●二日目に参加して! 久しぶりに会えた人たち、沢山で良かったです! また、よろしくです!(オガタ)  
●泊楽しかったです。あの、糞の感は何なんですかね? 次は釣竿持って行こう!(サンペイ)

三伊藤電気のアジア放浪記

な、なんと4杯目  
「やすらぎ探してアジア行脚は果てしなく!!」



タイの虎

皆さん、元気ででしょうか? 伊勢の電気屋、こも伊藤です。去年の話です。今回も、いつものオジサンたちとアジアをブラブラしちゃうんです。今回は、一年ぶりにタイ王国のバンコクです。微笑みの国、色々とあり過ぎるタイですが、とにかく面白いです。タイまでは中部国際空港より6時間30分のフライト後、スワンナプー空港に到着。迎えのバスに乗り込んだのは現地時間午後4時ぐらいです。前回と同じホテルにチェックインす

る。6時ころ、繁華街(カンラクガイ)の和食居酒屋で夕食にいます。まずビールで乾杯。その後は、いつもの夜の夜の街の出来事は、いつものように割愛し、突然のように朝です。朝食を済ませ、いつものガイドさんとロビンを待ち合わせ。今回は、タイガーテンブルという虎のいる寺と、映画「戦場に架ける橋」の舞台となったカンチャナブリを見に行くことになりました。まずはタイガーテンブルまで約2時間、ハイエースに揺られて到着。でも、休み時間だったので入場まで1時間待ち。それでも、近くを虎が約10頭、係員の手に連れられて散歩から戻ってきた。虎は、係員が木陰に座らせ、近くの鉄の杭に鎖をつなぐ。その10頭あまりの中から、好きな虎を選んで一緒に写真撮影ができます。私も係員の手にカメラを渡し、5枚ほど写してもらい、その写真を今年の年賀ハガキに使いました。写真撮影の後、虎と一緒に近くの池まで散歩する。というコースになっていたようなのですが、あまりの暑さに耐えきれず、キャンセル。次の目的地に向かう。

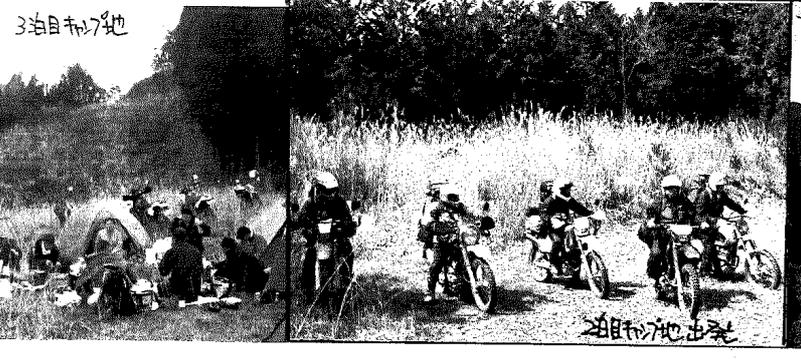
次はカンチャナブリを指す。約1時間、目的地に到着。まずはランチタイム。あの「戦場に架ける橋」の川と橋が見えるレストランで昼食。食後は、橋の上で列車が来るまで、写真など撮りながら過ごす。そしてホテルに帰り、2時間のタイ式マッサージ。そして夜の街にくり出す。皆さんは、露天商の怪しいコピーのベルトを買う。私を買わずに、横の店で家族の土産物を買った。昨夜の居酒屋が、あまり良くなかった。今日は場所を変えようと思いつき、いつものガイドさんに「良」といふ店名を覚えてもらおう。その和風居酒屋で夕食を済ませる。皆さん満足して、お楽しみみの、夜の街に、くり出す。4人も乗った狭いポロポロのエレベーターに揺られて、4階に魅惑的な世界が...

朝です。今日は、テレビ「クレイジージャーニー」で見たゲイのハッテン場(その筋の専門用語で、仲良くなる場所というところらしいです)で有名な「パピロン」を見に行く。さすがに店の中に入るわけにはゆかず、入り口の看板の前で、おっさん5人が記念撮影。そして、お土産探しにサンデーマーケットへ向かう。そしていつものワン革の店にいらして物色する。シルク100%のスカート、Tシャツ、バッグなどなどの買い物。済ませ、チャイナタウンでランチ。その後、少し車を走

らせ「ポセイドン」に向かう。楽しく遊ぶ。(どう楽しいかは、分かる人には分かる)

そしてホテルに戻る。少し休んで、夜はバンコクの新しいナイトスポット「アジアティック」ザ・リバーフロント」に向かう。チャオプライヤ川沿いにある最近人気のナイトマーケットである。東京ドーム2.5個分の広大な敷地には、ショッピングから世界各國の食も存分に味わえる。ニューハーフショーなどのエンターテインメントも楽しめるが、大観覧車からの夜景も見逃せない。営業は夕方17時より2時まで。その中で、有名なマンゴタンゴという店で「マンゴアロハ2皿を5人で食べた。その横の「ナラヤ」という店でまた買い物。夕食をと思って入った日本食店は、あまりの忙しさに注文の品が届かず、店を出て、昨夜の日本居酒屋へとタクシーで向かう。そして今夜2度目のカンサイ。色々飲み、食べた。そして、いつものカラオケナイトクラブへ。また、バンコクの夜は果てしなく続く。そして朝からタイ式マッサージ2時間を済ませ、ランチは「大戸屋」で済ませる。それから少し時間が経ち、今回最後の夕食会。会員(伊勢の電気屋組合?)が揃ったので、フカヒレ専門店に豪華に飲んで食べて、旅の最後の夜はおおいに盛り上がった。いっしょに、外は雨が降り出し、ホテルまで雨に少し濡れながら歩いて帰る。今夜は帰国の日、夜8時に空港までの送迎バスが来る。部屋でシャワーを浴び、支度を済ませる。8時にバスに乗る。空港へ向かう。そして、チケットカウンターで座席を通路側に変更してもらい、そしてチェックを済ませ、最後の土産を買って、夜のフライトで日本へ。

食べて飲んで☆\$△▽てばかりの、いつもの旅になりましたが、これがいいのです。でもやっぱり行って良かった。熱気と微笑みに包まれた神秘の国へ、また何とも無かったかのよう。私、はまたあの地へ足を運ぶであろう。



3日目目的地



2日目目的地

寺崎組新聞(増刊特別)